

にほんいち すいげん さと どうしむら  
**日本一の水源の郷をめざして——道志村**

どうしむら めいしよう  
**道志村の名勝 ①**

富士山の東部に位置する道志村は、原始の森が息づく清流の郷です。細長い木の葉

のような地形は昔から

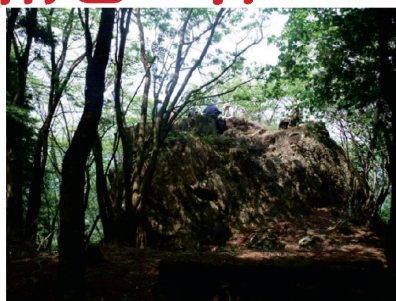
「道志七里」と呼ばれ  
 多くの素晴らしい景観が  
 残っています。



あまご いし おおむらざす (大室指)  
**雨乞い石**



大室神社 (おおむらじんじや)



ごとういし おおぐり (大栗)  
**ごとう石**



「ごとう」は「蟾蜍」(ひきがえる) のことで、方言で「ごつら」といいます。大栗山腹の大きな石が「ひきがえる」がうづくまったように見えることから名づけられたと思われます。

大室山は、古くから信仰の山として知られてきました。大室神社は山自体を信仰の対象としており祠はありません。その昔日照りの時に、村中で揃って山頂近くの「雨乞い石」に登り「大室権現、大権現、雨を降らしたもれ！」と祈願しました。少し前まで麓から見えるほどの大きな石でしたが、現在は木々がおい茂って見る事ができません。

